

—企業寄付実施のご報告—

「公益財団法人みちのく未来基金」の 第6期生の集いが開催されました。

ファミリーマートは、震災遺児のために高校卒業後の奨学金給付を行う「公益財団法人みちのく未来基金」に対し、グループ会社のユニー(株)とともに10年間にわたる支援(ユニー・ファミリーマート計3,000万円)を表明しています。この春、新たに99名(3月10日時点)が6期生として進学することになり、3月19日(日)には、6期生のための「門出の会」が開催されました。また、基金を卒業する奨学生92名の「旅立ちの会」が合わせて開催されました。

「門出の会」では、高校を卒業して進学する6期生の1人ひとりが壇上に立って、これからの抱負・将来の目標を話しました。「旅立ちの会」では、社会にはばたく卒業生が登壇。基金で出会った仲間の大切さや支えてもらったことへの感謝の言葉を話す卒業生たちに、会場から温かい拍手が送られました。感極まって涙が止まらない卒業生を前にして、ハンカチを目に当てる支援者の姿も目立つなど、みちのく生と支援者が直接交流を楽しむ良い機会となりました。

■ 寄付金実績

2012年から累計**18,000,000円**
(ユニー・ファミリーマート計)



第6期生の集い集合写真

みちのく未来基金の活動内容

東日本大震災で親を亡くした子ども達が将来の夢をあきらめず進学できるように設立された、進学支援のための奨学基金です。2011年10月、カゴメ株式会社、カルビー株式会社、ロート製薬株式会社が発起企業として設立し(現在はエバラ食品工業も運営に参加)、最後の進学希望者が卒業するまで四半世紀にわたる支援を表明しています。



■ 寄付企業・団体約800社 個人寄付者約4,000人 ■ 奨学生数629名(累計)

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。